

令和6年度 学校園評価(関係者評価)シート

(様式2)

学校園名	加古川市立平岡幼稚園
------	------------

1 教育目標	心豊かに学び合い 育ち合う子どもの育成
--------	---------------------

2 基本方針
園児の主体的な活動を促し、幼児期にふさわしい幼稚園生活が展開されるよう教育を進める。 ◇「幼児期の終わりまでに育ってほしい力」を考慮して指導を行う。 ◇園児の生活経験がそれぞれ異なることなどを考慮して、園児一人一人の特性に応じた指導・支援を行う。 ◇園児の自発的な活動としての「遊び」を生み出すために必要な環境を整え、園児の心身の発達の程度や季節などに適切に考慮して活動を展開する。

3 指導目標
目指す幼児像として設定し、日々の保育に努める。 ①心も体も健やかで明るい子(健康) ②思いやりがあり 心の優しい子(人間関係) ③様々な経験を通して 主体的に遊ぶ子(環境) ④言葉の思いを伝え 素直に表現する子(言葉) ⑤感じる心 考える力のある子(表現)

評価基準

A:できている B:だいたいできている C:あまりできていない D:できていない E：わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ（関係者評価）	達成状況
基本的生活習慣の確立	規則正しい生活を送り、身の回りのこと等、自分でできることを進んでしようとする自律心が育っているか。（指導目標①）	B	園内での身の回りの始末や片付け等は進んで取り組む姿が見られている。一方で生活リズムが整わなかったり、気持ちが安定せずに登園したりする幼児の姿もたびたび見られている。家庭と連携を図りながら今後も園でできるサポートをしていく必要がある。	・行事等と一緒に参加する中で、子ども達が 大きな声で挨拶をしてくれたり、たくさん話してくれたり、落ち着いた姿がよく見られるようになったと感じる。 ・様々な家庭環境に対応する難しさもあると思うが、多様な対応を今後も広げてほしい。	B
思いやりのある優しい気持ちをもった子の育成	自分の気持ちだけでなく、他者の思いを受け入れ、友達同士の温かい関係性が育っているか。（指導目標②④）	B	年長児は様々な行事等と一緒に頑張る中で、友達同士の関わりが深まり、相手を理解しようとする気持ちが育ってきている。年少児は次年度につながっていくように今後も一人一人を大切にしながら関わっていきたい。	・行事等と一緒に参加する中で、子ども達が 大きな声で挨拶をしてくれたり、たくさん話してくれたり、落ち着いた姿がよく見られるようになったと感じる。	A
様々な活動に興味関心をもち、主体的に活動する子の育成	初めての経験にも意欲をもってやってみようとする気持ちが育っているか。（指導目標③）	B	年間の行事を見直し、幼児が多方面にわたり興味関心のもてる内容を計画してきた。どのようなことも意欲的に取り組めるようになってきているが、その場限りにならず探求心をもてるような教師の関わりや教材研究に努めたい。	劇遊びに取り組む姿を見て、大きな声でセリフや歌を頑張り、特に年長児は自主的に行動しており、堂々とした立派な姿が見られた。一年の大きな成長を感じた。	A
小学校教育・地域との連携	小学校や地域の方等、縦横の繋がりや地域の教育力を保育の中で活かして取り組んでいるか。	B	小学校との連携は昨年度よりも増え、幼児も自然な関わりができるようになり、小学校が身近になったことは大きな成果である。次年度も継続して取り組んでいきたい。	小学校との交流の機会が増えたことで年長児にとっては、就学時のハードルが低くなっていると思う。次年度も引き続き連携を図りながら取り組んでほしい。	B